

学年だより

令和8年
3月11日(水)
臨時号

各教科担当より、学年末考査を振り返ってのアドバイスを掲載します。

教科	学年平均	教科担当より
国語	68.9	○今回点数が伸びた人の傾向として、文法の学習をしっかりとしていたかどうかが大きかったと思います。引き続き文法の学習を頑張りましょう。 ○文章問題はプリントを中心に復習しましょう。記述については返却の際に説明したとおり、内容の整合性や文のつながり、敬体と常体の統一などに注意しましょう。
数学	53.9	○図形において、定義・定理はすべての問題を解くための出発点です。必ず覚えてください。 ○たくさん問題を繰り返し解くしかありません。基礎基本を身につけるためには、教科書や問題集のA問題を解いてください。発展に取り組みたい人は、問題集のBC問題や演習プリントを解いてください。
英語	60.3	○コツコツイングリッシュは各partの基本文型です。定着するまで反復練習しましょう。定着すれば、あとは主語や動詞、名詞などを入れ替えるだけでアレンジすることができたり、意味がわかるようになっていきます。 ○とにかく一年次の英語が大切です。今学習中の「make+人+形容詞」の文は2年次の文型ですが、makeの三単現のS形や過去形が区別できるか、人称代名詞の目的格(me,you,him,her,them…)が定着しているか、一般動詞の肯定文・疑問文・否定文が作れるかが素地となり、これらはすべて1年次の学習内容です。今のうちに1年次内容を丁寧に復習しておきましょう。
社会	64.2	○(地理)地理は2年生で終了です。地方ごとに地形や気候、産業の特徴の大まかな特徴を理解しておきましょう。地形・気候・産業は互いに関係合っています。個別で暗記せず、なぜそうなるのかを説明できるようにすることが大切です。大問4の問1、問2を復習しましょう！ ○(歴史)江戸時代は改革が多く混乱しますが、出来事が起きた理由、どのように対応したか、その結果に注目して全体の流れを理解しましょう。大問5を復習しましょう！

教科	学年平均	教科担当より
理科	64.9	○学んだこと事や問題集の内容をしっかりと理解することが得点につながったと思います。学んだことを自分なりに落とし込む方法は人それぞれです。友達・先輩・先生に聞いたり、問題を何回も解いたり、学んだことやテストに出そうなところをノートにまとめたりするなど、どれだけ向き合えたかによって今回のテストで最高得点を出した生徒が何人もいます。大事なことは自分に合った勉強方法を見つけることです。各クラスで2学期期末考査後に勉強方法を教え合い、クラスの後ろに勉強方法を掲示しましたし、3年生による「先輩講話」で勉強方法の話もあったので、自分に合った勉強方法を辛抱強く探っていきましょう。「継続は力なり」という言葉があるように目先の結果に焦らず、まずは日々の勉強をコツコツ続けていきましょう。
美術	63.9	○試験範囲表で範囲をよく確認し、偏りなく学習してきた人が得点につながっています。作品づくりに必要な知識や鑑賞に役立つ知識は身につけてほしいと思います。試験時間が余ったら見直しをして、ケアレスミスを防ぎましょう。また日ごろの授業態度や忘れ物に気をつけましょう。
保体	65.0	○今回のテストまでの授業で「傷害の防止」という単元を学びました。中学生に多い傷害(けが)の起こる原因や状況によっては、人の命を救うこともできる応急手当などを学びました。知識として覚えてほしいとともに、より知識や技能を高めたい人は動画の視聴や講習会への参加をすることにより知識と技能が向上すると思います。
技術		○定着している所と課題が残る所があるので、用語だけではなく手順・理由まで確認し、プリントを復習しましょう。
家庭	72.8	○実際の生活場面を想像しながら学習に取り組めた人が点数をとれていた印象でした。2年生の内容は、1年生の食生活の内容よりもさらに生活に密着した内容でした。授業の中で扱ったことに関して生活の中に落とし込んで考えたり、関連付けて新たな気付きを得たりして、実践的に知識を活用する場面を作ることが定着への近道です。「学習」として捉えるのではなく、「生活をよりよくする知恵」として家庭科を楽しんでみてください。